

県内経済の基調判断

2024年4月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている。

概況

生産は弱含みの動きとなっている。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きが鈍化している。雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2024年2月	3月	4月
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している (据え置き)	<u>総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている</u> (下方修正)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)
生産	弱含みの動きとなっている	弱含みの動きとなっている	弱含みの動きとなっている
公共投資	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている
住宅投資	<u>弱めの動きとなっている</u>	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
個人消費	総じて緩やかに持ち直している	<u>持ち直しの動きが鈍化している</u>	持ち直しの動きが鈍化している
雇用情勢	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている
	2023年4~6月	7~9月	10~12月
企業景況感	<u>総じて持ち直しの動きとなっている</u>	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77BI

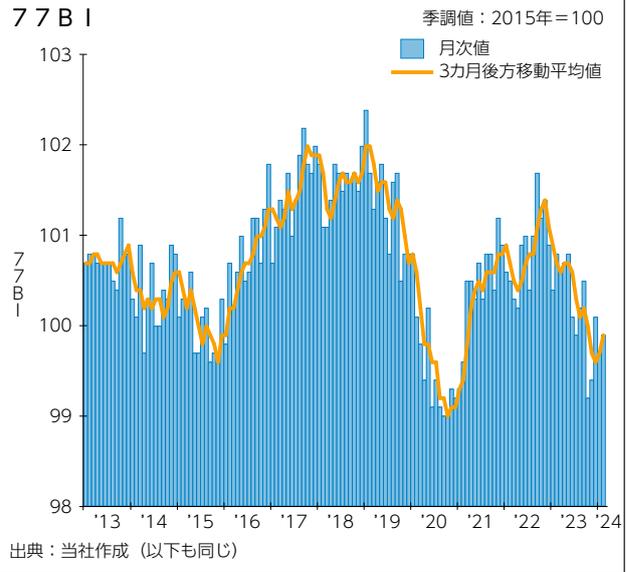
77BI(暫定値)は、弱めの動きとなっている。

2月の77BI(暫定値)は、前月比0.2ポイント上昇の99.9となった。

採用指標別にみると、建築物着工床面積、有効求人倍率は前月比低下したが、宮城県消費動向指数は前月比上昇した。また、1月の鉱工業生産指数は前月比低下した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比0.2ポイント上昇の99.9となった。

77BI



77BI (季節調整値、2015年=100)

	2023年12月	2024年1月	2月
BI値	100.1	99.7	99.9
鉱工業生産指数	99.6	88.7	88.7
宮城県消費動向指数	106.3	106.0	111.8
建築物着工床面積	58.9	53.2	41.5
有効求人倍率	97.3	99.5	96.5

[参考] 77PCI (広域圏別景気指数)
(季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2023年12月	2024年1月	2月
仙南圏	▲ 0.3	▲ 0.1	0.3
仙台圏	▲ 0.2	▲ 0.04	0.1
大崎圏	0.9	▲ 0.6	▲ 0.6
栗原・登米圏	0.1	▲ 0.2	0.2
石巻・気仙沼圏	0.1	▲ 0.1	0.3

[参考] 77PCI



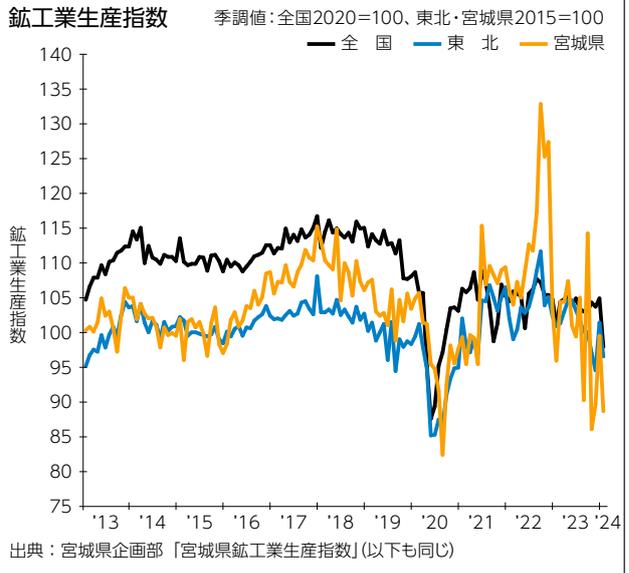
生産動向

鉱工業生産指数は、弱含みの動きとなっている。

1月の鉱工業生産指数は、前月比10.9%低下の88.7となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比マイナスとなったことなどから、3カ月ぶりに前月を下回った。

一方、前年と比較すると、印刷業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比5.9%の低下となり、9カ月連続して前年を下回っている。

鉱工業生産指数

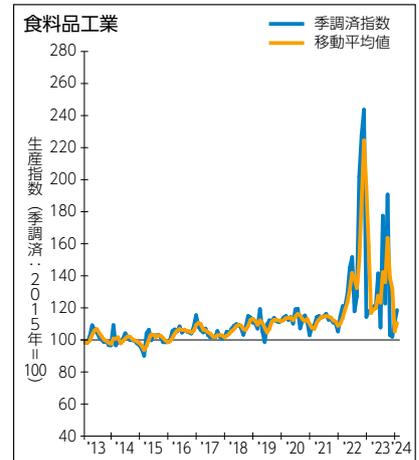
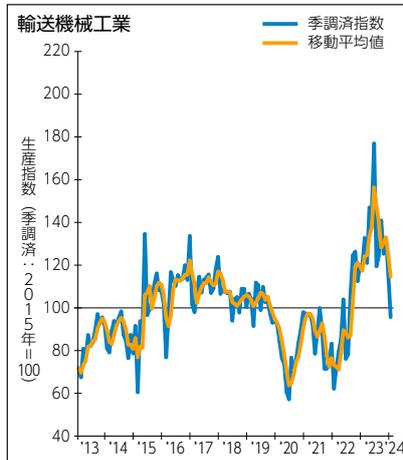
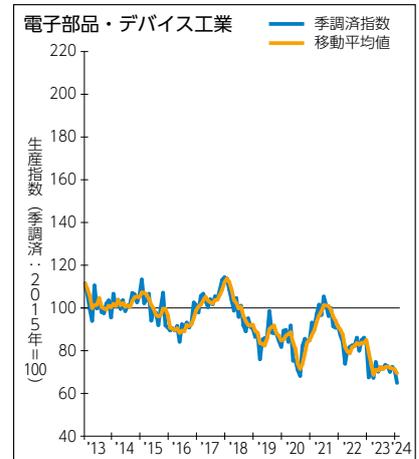
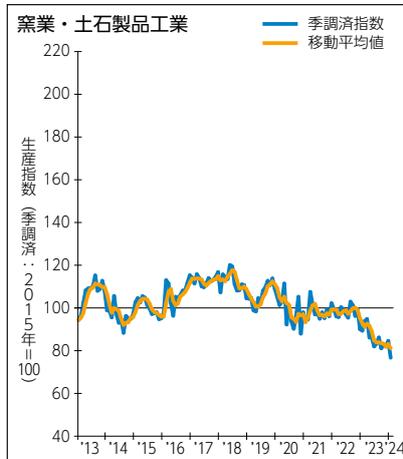
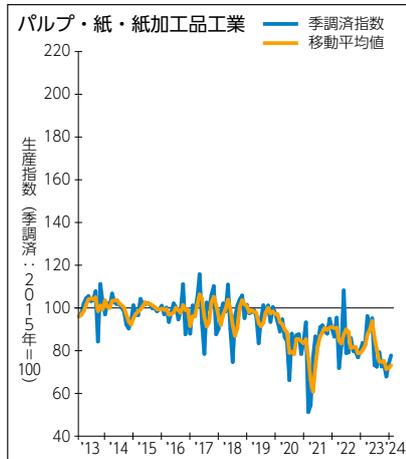
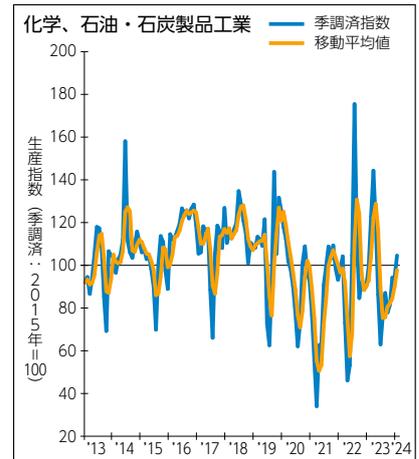


鉱工業生産指数 (宮城県・東北2015年=100、全国2020年=100、季節調整済、前年比:%)

	2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	89.7	99.6	88.7
(前年比)	▲ 29.7	▲ 5.5	▲ 5.9
東北	94.6	101.5	96.6
(前年比)	▲ 10.1	▲ 2.6	▲ 2.7
全国	103.8	105.0	98.0
(前年比)	▲ 1.6	▲ 1.1	▲ 1.5

主要業種別生産動向(宮城県) (2015年=100、季節調整済、前年比:%)

業種	2023年11月	12月	2024年1月
化学、石油・石炭製品工業	94.2	94.5	104.6
(前年比)	6.3	5.8	4.0
パルプ・紙・紙加工品工業	67.8	73.8	77.7
(前年比)	▲ 11.8	▲ 6.8	▲ 8.2
窯業・土石製品工業	81.9	84.5	76.6
(前年比)	▲ 17.7	▲ 8.2	▲ 12.3
電子部品・デバイス工業	72.3	70.9	64.8
(前年比)	▲ 15.9	▲ 17.6	▲ 1.3
汎用・生産用・業務用機械工業	132.8	207.8	110.4
(前年比)	▲ 39.3	2.2	▲ 2.1
輸送機械工業	132.6	115.6	95.6
(前年比)	17.8	▲ 5.4	▲ 18.7
食料品工業	101.9	110.9	118.6
(前年比)	▲ 58.2	▲ 2.9	0.7



建設動向

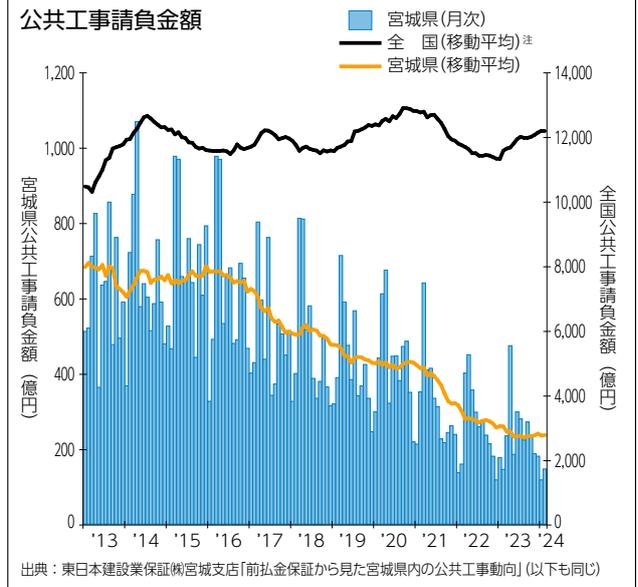
公共工事請負金額は下げ止まりの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は水準が低下している。

公共工事

2月の公共工事請負金額は、前年同月比0.7%増の147億円となり、2カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、国の機関では、同12.7%減の31億円と前年を下回った。

一方、地方の機関は、県が同9.0%増の57億円、市町村等は同1.5%増の59億円となり、全体で同5.0%増の116億円と前年を上回った。

また、震災前の2010年2月の請負金額（121億円）と比べた水準は22.2%増となっている。



注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

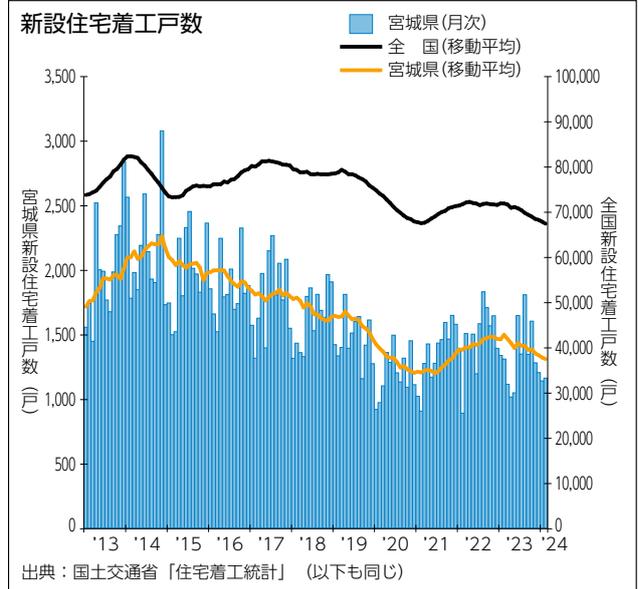
	2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	54.3	▲ 33.4	0.7
国の機関	2.5倍	▲ 23.7	▲ 12.7
県	6.3	▲ 23.8	9.0
市町村等	86.0	▲ 42.4	1.5
全国	14.5	12.7	▲ 0.7

住宅建設

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比11.3%減の1,163戸(全国8.2%減、59,162戸)となり、4カ月連続して前年を下回っている。

利用関係別にみると、貸家が同33.1%増(760戸)と前年を上回ったが、持家が同13.7%減(240戸)、分譲が同64.3%減(162戸)と前年を下回った。

また、震災前の2010年2月の着工戸数(621戸)と比べた水準は87.3%増となっている。



新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	▲ 13.5	▲ 14.8	▲ 11.3
持家	▲ 15.7	▲ 20.4	▲ 13.7
貸家	▲ 2.3	0.3	33.1
分譲	▲ 36.5	▲ 30.8	▲ 64.3
全国	▲ 4.0	▲ 7.5	▲ 8.2

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

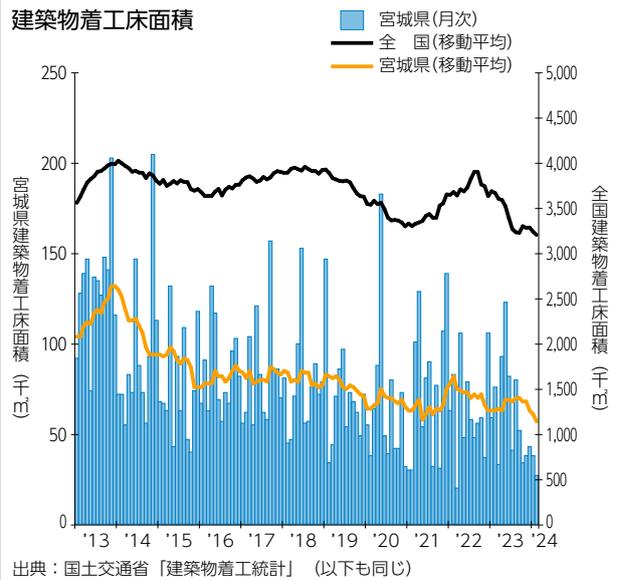
	2023年12月	2024年1月	2月
市部	▲ 23.5	▲ 15.6	▲ 15.2
うち仙台市	▲ 20.9	▲ 5.8	▲ 13.2
うち仙台市以外	▲ 30.0	▲ 35.7	▲ 21.0
郡部	54.7	▲ 6.1	21.1

建築物着工

2月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比64.5%減の27千㎡、工事費予定額は同60.8%減の55億円となり、床面積、工事費予定額とも3カ月連続して前年を下回っている。

用途別に床面積をみると、倉庫（9千㎡：前年同月比82.4%減）などが前年を下回った。

建築物着工床面積



建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	▲ 59.2	▲ 35.9	▲ 64.5
事務所	▲ 59.5	▲ 70.3	2.4倍
店舗	1.4	▲ 2.7	2.5倍
工場	▲ 99.3	3.5倍	▲ 36.8
倉庫	▲ 17.8	8.4	▲ 82.4
その他	▲ 33.8	▲ 87.0	▲ 67.0
全国	0.8	▲ 15.3	▲ 13.2

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	▲ 54.0	▲ 41.0	▲ 60.8
事務所	▲ 63.8	▲ 70.5	2.2倍
店舗	▲ 36.2	14.1	2.5倍
工場	▲ 99.1	7.1倍	▲ 18.3
倉庫	19.6	▲ 6.0	▲ 85.9
その他	▲ 22.0	▲ 89.4	▲ 73.4
全国	44.3	15.4	6.5

消費動向

宮城県消費動向指数は横ばい圏内で推移しており、小売業主要業態販売は持ち直しの動きが鈍化している。乗用車新車販売は強い下押しにより減少している。

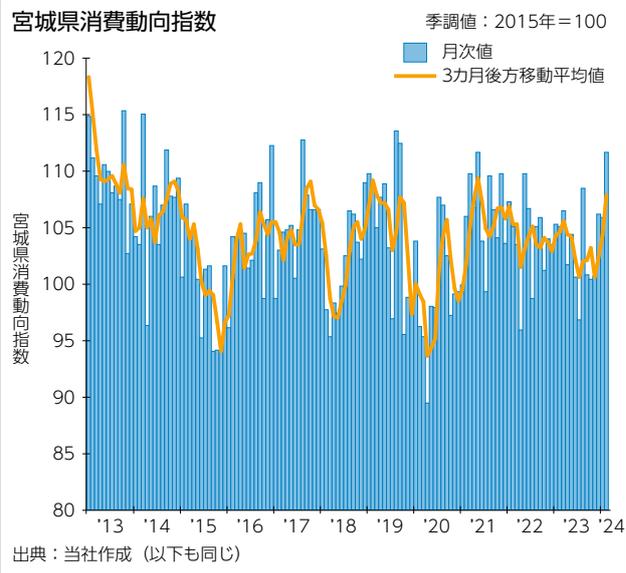
消費動向指数

2月の宮城県消費動向指数は、前月比5.8ポイント上昇の111.8となり、2カ月ぶりに上昇した。

消費費目別にみると、「家具・家事用品」「教養娯楽」などが上昇した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比3.6ポイント上昇の108.0となった。

宮城県消費動向指数



宮城県消費動向指数 (季節調整値、2015年=100)

	2023年12月	2024年1月	2月
消費動向指数	106.3	106.0	111.8
家賃指数	110.4	110.7	110.6
乗用車販売指数	97.7	67.7	66.9
コア消費支出指数	115.3	121.0	128.7

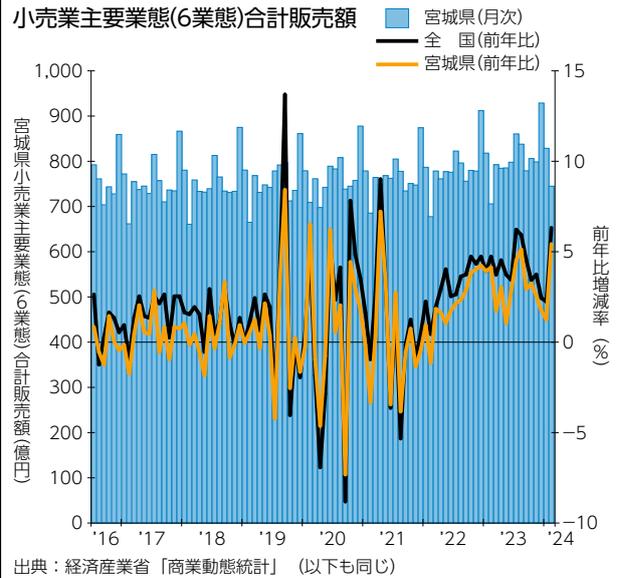
※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

小売業主要業態販売

2月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比5.5%増の748億円(全国6.4%増、3兆9,304億円)となり、24カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同5.3%増の320億円(全国7.6%増)となり、15カ月連続して前年を上回っている。コンビニエンスストアは同3.3%増の186億円(全国5.4%増)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。家電大型専門店は同3.1%増の54億円(全国1.4%減)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。ドラッグストアは同11.8%増の144億円(全国11.4%増)となり、35カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同1.0%増の45億円(全国1.3%増)となり、3カ月ぶりに前年を上回った。

小売業主要業態(6業態)合計販売額



出典：経済産業省「商業動態統計」(以下も同じ)

小売業主要業態販売額 (前年比、%)

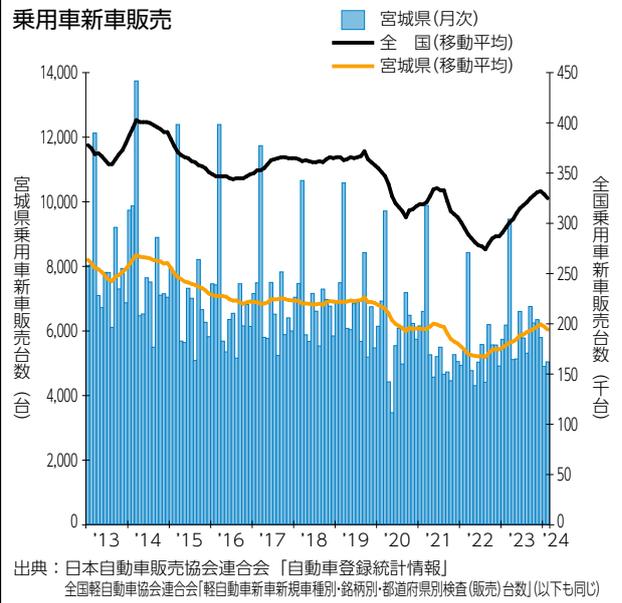
	2023年12月	2024年1月	2月
6業態合計(宮城県)	1.8	1.3	5.5
百貨店・スーパー	2.5	2.9	5.3
コンビニエンスストア	0.3	▲ 0.1	3.3
家電大型専門店	1.8	▲ 5.1	3.1
ドラッグストア	5.3	6.1	11.8
ホームセンター	▲ 4.3	▲ 6.3	1.0
6業態合計(全国)	2.5	2.3	6.4

注) 全店ベース

乗用車新車販売

2月の乗用車新車販売台数は、前年同月比18.5%減(全国16.3%減)の5,033台となり、前月に引続き前年を下回っている。車種別にみると、普通車は、同9.2%減(全国5.8%減)の2,178台となり、14カ月ぶりに前年を下回った。小型車は、同34.3%減(全国30.8%減)の1,136台となり、前月に引続き前年を下回っている。また、軽乗用車は、同16.0%減(全国19.8%減)の1,719台となり、前月に引続き前年を下回っている。

乗用車新車販売



出典：日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」
全国軽自動車協会連合会「軽自動車新車新規車種別・銘柄別・都道府県別検査(販売)台数」(以下も同じ)

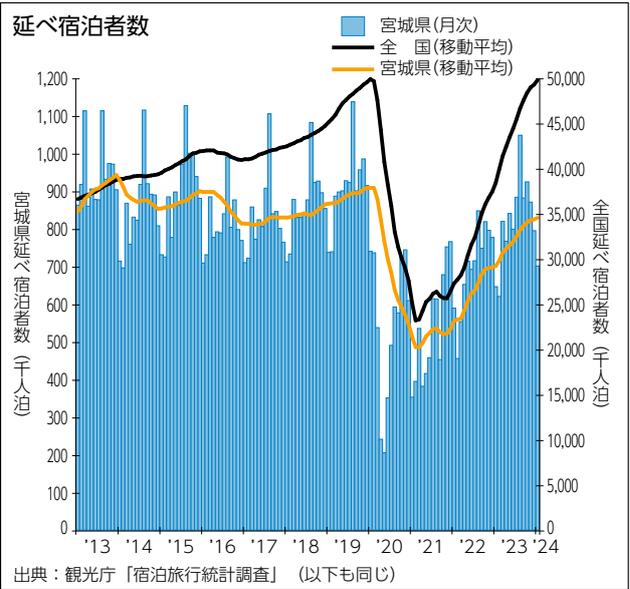
乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	18.0	▲ 14.7	▲ 18.5
普通車	28.7	3.8	▲ 9.2
小型車	1.8	▲ 26.5	▲ 34.3
軽乗用車	19.0	▲ 22.9	▲ 16.0
全国	6.1	▲ 10.8	▲ 16.3

観光動向

1月の延べ宿泊者数は、前年同月比8.6%増の703千人泊となり、27カ月連続して前年を上回っている。居住地別にみると、県内宿泊客は同8.9%減の203千人泊と6カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同10.3%増の428千人泊と22カ月連続して前年を上回っている。また、外国人の延べ宿泊者数は、同2.7倍の63千人泊となり、18カ月連続して前年を上回っている。

延べ宿泊者数



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	873	797	703
うち県内客	216	247	203
うち県外客	580	485	428
うち外国人	55	54	63
全国	52,919	50,735	45,650
うち外国人	11,886	12,303	11,235

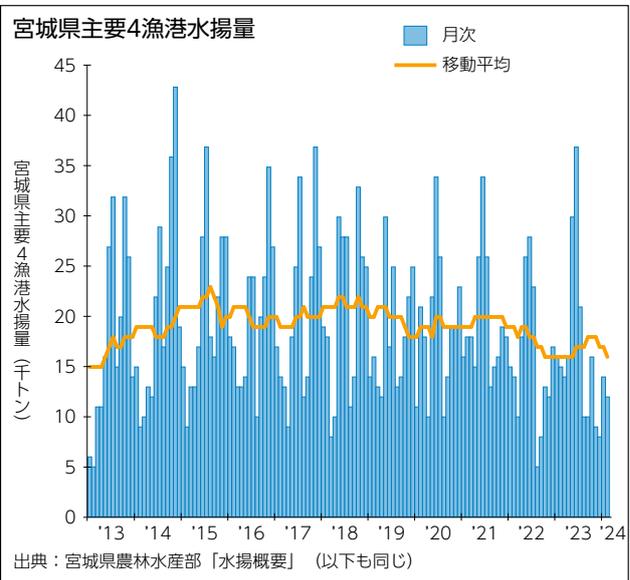
延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

	2023年11月	12月	2024年1月
宮城県	9.3	2.4	8.6
うち県内客	▲ 7.3	▲ 12.8	▲ 8.9
うち県外客	12.8	3.4	10.3
うち外国人	4.5倍	3.5倍	2.7倍
全国	15.5	7.8	15.6
うち外国人	3.1倍	2.1倍	85.5

水産動向

2月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚げは、数量が前年同月比22.0%減の12千トン、金額が同2.6%減の28億円となり、数量は4カ月連続して、金額は3カ月連続して前年を下回っている。魚種別にみると、数量、金額ともイワシ類などが減少した。漁港別にみると、数量、金額とも気仙沼が前年を上回ったが、塩釜、石巻、女川が前年を下回った。

宮城県主要4漁港水揚量



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2023年12月	2024年1月	2月
合計	▲ 52.7	▲ 12.0	▲ 22.0
塩釜	17.1	3.6倍	▲ 25.2
石巻	▲ 64.1	▲ 21.2	▲ 25.9
気仙沼	▲ 51.4	▲ 8.5	19.9
女川	▲ 50.1	▲ 26.5	▲ 39.6

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2023年12月	2024年1月	2月
合計	▲ 23.7	▲ 20.3	▲ 2.6
塩釜	19.2	49.8	▲ 11.5
石巻	▲ 46.4	▲ 42.5	▲ 5.6
気仙沼	▲ 18.4	▲ 27.4	13.7
女川	▲ 32.7	2.0	▲ 5.6

貿易動向

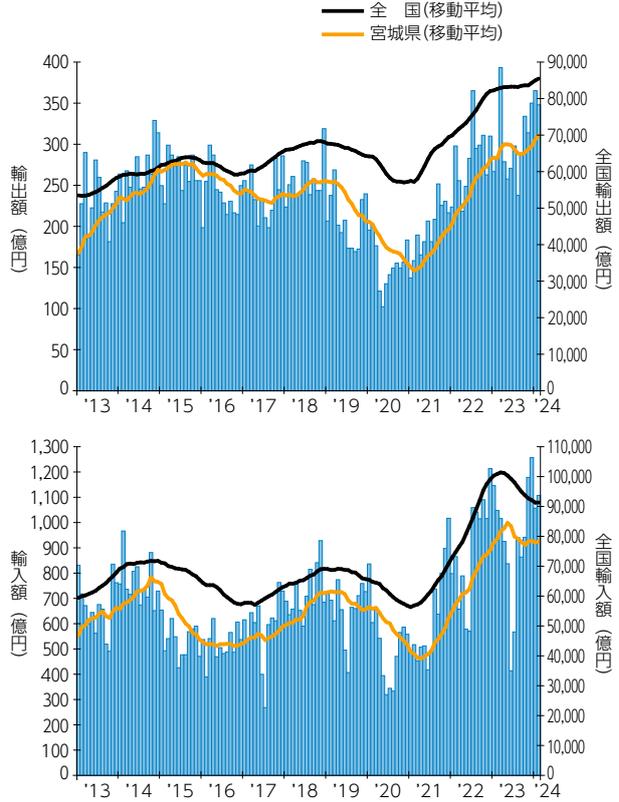
2月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比22.6%増の347億円、輸入が同5.7%増の1,104億円となった。

輸出は電池が増加したことなどから5カ月連続して前年を上回っている。一方、輸入は原油・粗油が増加したことなどから2カ月ぶりに前年を上回った。

輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	輸出	12.9	36.8	22.6
	輸入	3.6	▲ 7.8	5.7
全国	輸出	9.7	11.9	7.8
	輸入	▲ 6.8	▲ 9.8	0.5

宮城県内貿易動向



出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」(以下も同じ)

物価動向

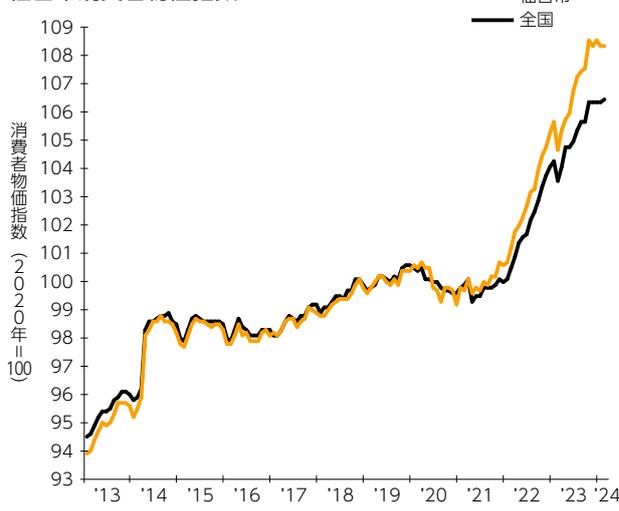
2月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.5%上昇の108.4となり32カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」などが上昇した。

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

	2023年12月	2024年1月	2月
生鮮食品を除く食料	6.9	6.7	6.2
住居	1.6	1.7	1.5
光熱・水道	▲ 12.4	▲ 12.5	▲ 1.2
家具・家事用品	6.1	4.0	2.3
被服および履物	6.2	6.1	4.7
保健医療	3.6	3.6	2.2
交通・通信	3.8	3.7	3.6
教育	0.3	0.4	0.4
教養娯楽	9.6	6.4	7.4
諸雑費	1.5	1.3	1.3

仙台市消費者物価指数



注) 生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」(以下も同じ)

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2023年12月	2024年1月	2月
仙台市	3.1	2.6	3.5
全国	2.3	2.0	2.8

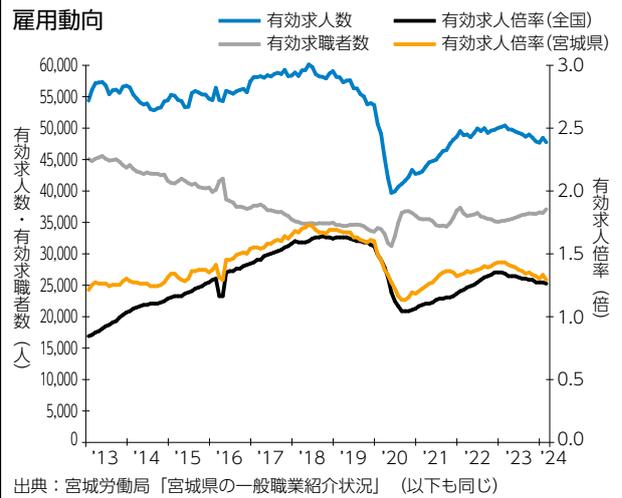
雇用動向

雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

2月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求人数が減少したことなどから、前月比0.04ポイント低下の1.29倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて卸売業・小売業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.58倍）、石巻（1.54倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.81倍）、塩釜（0.83倍）などは1倍を下回っている。



有効求人倍率等 (倍、%)

	2023年12月	2024年1月	2月
有効求人倍率(宮城県)	1.30	1.33	1.29
(全国)	1.27	1.27	1.26
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 0.7	▲ 5.9	▲ 8.6

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2023年12月	2024年1月	2月
気仙沼	1.32	1.27	1.19
石巻	1.54	1.59	1.54
塩釜	0.85	0.90	0.83
仙台	1.60	1.62	1.58
大和	1.59	1.58	1.48
古川	1.22	1.20	1.16
築館	1.56	1.60	1.36
迫	0.99	0.97	0.97
大河原	0.73	0.70	0.81
白石	1.32	1.28	1.27

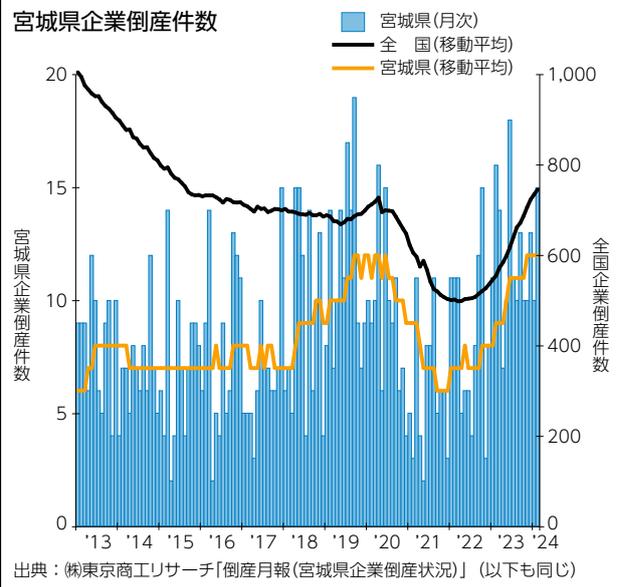
倒産動向

2月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比6.3%減の15件、負債額では同4.5倍の30億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業、サービス業他が各4件、製造業が3件などとなっている。

主因別では、販売不振が12件などとなっている。

地域別では、仙台市が13件、栗原市、柴田郡が各1件となっている。



企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

		2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	件数	13	10	15
	負債額	978	2,376	2,982
全国	件数	810	701	712
	負債額	103,228	79,123	139,596

企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

		2023年12月	2024年1月	2月
宮城県	件数	62.5	▲ 9.1	▲ 6.3
	負債額	2.2倍	2.0倍	4.5倍
全国	件数	33.7	23.0	23.4
	負債額	30.4	40.0	44.5

人口動向

3月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比15,334人減の225万6,191人となり、35カ月連続して前年を下回っている。

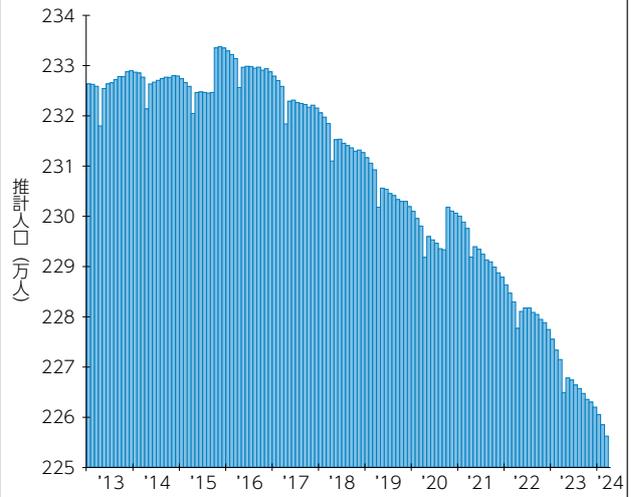
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万6,268人減、社会増減は934人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（84人増）、富谷市（65人増）の2市、減少したのは石巻市（2,102人減）、大崎市（1,741人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では9万662人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万9,476人増）、名取市（5,271人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万7,192人減）、気仙沼市（1万6,185人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口

(人)

	2024年1月	2月	3月
総人口	2,260,508	2,258,481	2,256,191
自然増減	▲ 1,564	▲ 1,870	▲ 1,687
社会増減	70	▲ 157	▲ 603

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人)

	2011年3月	2023年3月	2024年3月	前年比	震災前比		2011年3月	2023年3月	2024年3月	前年比	震災前比
	①	②	③	③-②	③-①		①	②	③	③-②	③-①
宮城県	2,346,853	2,271,525	2,256,191	▲ 15,334	▲ 90,662	村田町	11,939	10,236	10,078	▲ 158	▲ 1,861
仙台市	1,046,737	1,097,563	1,096,213	▲ 1,350	49,476	柴田町	39,243	37,533	37,291	▲ 242	▲ 1,952
石巻市	160,394	135,304	133,202	▲ 2,102	▲ 27,192	川崎町	9,919	7,982	7,818	▲ 164	▲ 2,101
塩釜市	56,221	50,963	50,566	▲ 397	▲ 5,655	丸森町	15,362	11,387	11,099	▲ 288	▲ 4,263
気仙沼市	73,154	58,270	56,969	▲ 1,301	▲ 16,185	亘理町	34,795	32,797	32,650	▲ 147	▲ 2,145
白石市	37,273	31,381	30,647	▲ 734	▲ 6,626	山元町	16,608	11,660	11,494	▲ 166	▲ 5,114
名取市	73,603	78,790	78,874	84	5,271	松島町	15,014	12,880	12,629	▲ 251	▲ 2,385
角田市	31,188	26,857	26,483	▲ 374	▲ 4,705	七ヶ浜町	20,353	17,584	17,383	▲ 201	▲ 2,970
多賀城市	62,990	62,602	62,432	▲ 170	▲ 558	利府町	34,279	35,113	35,044	▲ 69	765
岩沼市	44,160	43,636	43,528	▲ 108	▲ 632	大和町	25,366	28,626	28,439	▲ 187	3,073
登米市	83,691	73,043	71,596	▲ 1,447	▲ 12,095	大郷町	8,871	7,577	7,427	▲ 150	▲ 1,444
栗原市	74,474	61,530	60,170	▲ 1,360	▲ 14,304	大衡村	5,361	5,587	5,495	▲ 92	134
東松島市	42,840	38,326	37,820	▲ 506	▲ 5,020	色麻町	7,406	6,393	6,263	▲ 130	▲ 1,143
大崎市	134,950	123,991	122,250	▲ 1,741	▲ 12,700	加美町	25,421	21,004	20,613	▲ 391	▲ 4,808
富谷市	47,501	51,543	51,608	65	4,107	涌谷町	17,399	14,662	14,325	▲ 337	▲ 3,074
蔵王町	12,847	10,929	10,726	▲ 203	▲ 2,121	美里町	25,055	23,205	22,885	▲ 320	▲ 2,170
七ヶ宿町	1,664	1,191	1,179	▲ 12	▲ 485	女川町	9,932	6,147	6,063	▲ 84	▲ 3,869
大河原町	23,465	23,536	23,455	▲ 81	▲ 10	南三陸町	17,378	11,697	11,477	▲ 220	▲ 5,901

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数